



維新小だより

〈学校教育目標〉
よく学び、たくましく生きる心豊かな児童の育成
「元気な子 考える子 やさしい子」

総社市立維新小学校
令和2年9月2日
第46号

9月に入りました！9月は「やりぬく心」です

夏の暑さがずっと続いています。気が付けば暦の上では9月に入っています。例年ならこの辺りで、二学期の始業式があり、心新たに再出発をする頃でしょうが、今年は、暑さ真っ最中の8月19日に、既に二学期を迎え、子どもたちも二学期の学校生活が軌道に乗った頃です。ちょっと涼しくなったなど、秋の気配を感じるのは、まだまだなののでしょうか？

さて、9月の品格目標は「やりぬく心」です。1日（火）に児童朝会があったので、トンボの話をして、「やりぬく心」を持って頑張るように励ましました。

トンボの話

※子どもたちにはもっと砕いて話しています。

赤とんぼの正式な名前はアキアカネ。ナツアカネというのもあるようです。

トンボの特徴その1・・・トンボは一直線に速く飛びます。止まることはあっても後ろには決して飛びません。

トンボの特徴その2・・・トンボは稲についた害虫を食べます。

日本では、昔からトンボは、その飛び姿や害虫を食べることから、幸運をもたらすとされ、大切にされました。トンボには昔から別名があり、「勝虫（かちむし）」という名前が付いています。戦国武将、前田利家の兜の前立てにトンボが飾られています。前立てというのは兜の飾りのこと。トンボは一直線に速く飛び、止まることはあっても、後ろに下がる。戦で言うと、前に前に進むことは、勝っている証拠。後ろに下がるのは、退却していることで負けている証拠。戦を優勢に進めるという意味で、兜にトンボを飾ったわけです。前田利家以外にもトンボを兜に付けた武将（武田軍重鎮、板垣信方など）もいたようです。

さて、今月の目標はやり抜く心です。みんなもトンボの飛び方のように、まっすぐ進んで止まることはあっても、後ずさりしないで、自分で決めたことを前向きにやり抜いていきましょう。前進あるのみ！



竹細工の「トンボ」頂きました！

このトンボを一人2本ずつ、子どもたちに渡しました。総社北小学校区の泉にお住まいの岡本さんが、子どもたちに配ってほしいと持ってきてくださいました。1本の竹から自分で作られた手作りのものです。実は岡本さんは、中尾の出身でこの維新小学校が母校となります。大切にしてください。室内にある鉢の土に刺したり、鉛筆立てに立てたり、使い方はいろいろあります。

トンボは幸運をもたらすと言われてますし、前向き（前進）の象徴です。皆様もこのトンボを見て、前向きな気持ちでお過ごしください。



検診が始まります！

例年なら一学期のうちに済ませておく各検診が新型コロナウイルスの影響で二学期に延期されてきました。既に心臓検診は終わりましたが、内科検診、歯科検診、眼科検診、耳鼻科検診などが、今後予定されています。ご協力、よろしくお願い致します。

「心を一つに みんな えがおで つながろう」

ちょこっと運動会のスローガンが決定しました。高学年の子どもたちが話し合って決定しました。運動会の規模が小さいとは言え、スローガンがあるとみんなが同じ気持ちになって頑張ることができます。素敵なスローガンをありがとう！